

## 芸術学部（学士（芸術））の卒業の認定に関する方針

日本大学芸術学部（学士（芸術））は、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、次表に示す「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力に基づく本学部（学士（芸術））における能力を修得した者に、「学士（芸術）」の学位を授与する。

日本大学教育憲章（「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		卒業の認定に関する方針	
構成要素（コンピテンス）	能力（コンピテンシー）	構成要素（コンピテンス）	能力（コンピテンシー）
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。	DP1 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	芸術に関する豊かな知識と教養を基に、社会に対しての倫理観を高めることができる。
世界の現状を理解し、説明する力	世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。	DP2 世界の現状を理解し、説明する力	日本及び世界の歴史や直面している問題を理解し、その多様性について説明することができる。
論理的・批判的思考力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	DP3 論理的・批判的思考力	得られる情報を客観的に捉え、論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
問題発見・解決力	事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	DP4 問題発見・解決力	事象を注意深く観察して、自ら能動的に課題を発見し、芸術表現を通して解決策を提案することができる。
挑戦力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。	DP5 挑戦力	あきらめない気持ちで、芸術分野の未来に向かって果敢に挑戦することができる。
コミュニケーション力	他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。	DP6 コミュニケーション力	他者の意見を聴いて、自分と異なる価値観を理解・尊重し、自分の考えを伝え、他者を納得させることができる。
リーダーシップ・協働力	集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	DP7 リーダーシップ・協働力	集団のなかで他者と連携しながら、リーダーシップを発揮することで、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。	DP8 省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高め、芸術表現に活かすことができる。